

令和6年度ケアマネみやざき — 会長挨拶 —

会員の皆さま、令和4年度・5年度は本協会の運営にご協力をいただきました。そして本日より向こう2年間、本協会会長を仰せつかりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、平成20年6月に本協会が設立されて、17年目に入ろうとしています。令和6年度の介護報酬が改定されたばかりですが、ケアマネにとって不本意な改定であったと言わざるを得ません。今月に入って、介護職員などの処遇を改善する加算が「介護職員等処遇改善加算」として一本化されましたが、居宅介護支援を担うケアマネは、



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 牛谷 義秀

その後も引き続き加算の対象になっていません。居宅介護支援事業所が処遇改善の蚊帳の外に置かれている印象を否めず、これらは若手の人材をいっそう不足させる要因として懸念されます。また先頃、厚労省で開催された「ケアマネシメントに係る諸課題に関する検討会」で、介護支援専門員の法定研修のあり方が焦点の1つとなっており、「法定研修に係る時間や経済的負担」の軽減に関する議論も白熱を帯びてきました。毎年開催している「本協会と福祉部の皆さまと県議会議員との意見交換会」でも取り上げてきたことであり、本県の自治体でも法定研修費用の助成をおこなってくれるところが増えてきました。中央で解決しなければならぬ案件とは別に、このようにケアマネを守るために、県行政と開催される議論は極めて重要であると考えています。

本協会は毎年、春先には制度の改正等を踏まえた協議のため県福祉保健部をお尋ねし福祉保健部長をはじめ、次長、長寿介護課長、医療介護連携室長などの皆さまとご面談いただき、次年度の委託事業などに向けた提案が秋の県議会での議論いただけるように、協議の場をいただいております。つくづくありがたいことと感謝申し上げます。今後本協会には、介護保険制度の中心にしながら処遇改善の恩恵にあずかれない件、時間的・経済的負担を強いられている法定研修の件、居宅介護支援における利用者負担導入の案件、潜在ケアマネジャーの発掘など人材確保の件など、ケアマネシメントに係る諸課題にしっかりと向き合っており、これらに関する制度改革など、国や県を動かすためには会員の皆さまの声を忠実に拾い上げる必要がありますし、そのためには組織率が重要であります。宮崎県の組織率は高い方ではありますが、さらにひとりでも多くの皆さまに本会へ参加いただき、現場の声を

お聞かせください。
本協会の役割はケアマネの現場の声を中央に伝え、ケアマネ自身を守ることであります。今後とも役員一同、粉骨砕身、課題解決に向けて懸命に取り組んでまいります。
今後とも御理解と一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



令和6年度総会で挨拶される牛谷会長



※「MCMA」を探せ！

広報誌のどこかに「MCMA」が3つあります！ぜひ、探してみてください！協会ロゴとは限りません。

宮崎県介護支援専門員協会新役員紹介

令和6年度の総会で承認を得て、令和6年から2年間の役員が決まりましたのでご紹介いたします。



副会長
大峯 伸一

引き続き、副会長を仰せつかりました大峯です。カリキュラム改定等と、課題が山積していますが、これから2年間、精一杯頑張ります。



副会長
資質向上部
児玉 あかね

立ち上げ当初からこれまでの経験を活かし、当協会の更なる充実、組織の拡大が図れるよう力を尽くします。よろしくお願いいたします。



副会長
滝本 実和

微力ではございますが、私は私らしく楽しみながらお役目に全力で挑む所存しております。皆様のご協力とお導きの程、どうぞよろしくお願いいたします。



延岡・西臼杵
ブロック
平塚 敦

ブロック理事に新任いたしました。微力ではございますが様々な地域の課題や現状を知り介護支援専門員のサポート役として尽力して参ります。



日向・東臼杵
ブロック
黒木 千恵

今期は介護支援専門員の方の声をできるだけ多く聞き取り、抱える課題を少しでも反映し、改善していける研修等を企画していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



西都・児湯
ブロック
緒方 清孝

引き続き西都児湯ブロックを理事を担当することになりました。ケアマネジャーの皆様のお力添えができるよう頑張ります。



宮崎・東諸県
ブロック
大石 美香

地域で活躍する会員の皆様の日々の業務に寄り添い、支えになれるような活動を目標に支部活動の支援など委員と一緒に取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。



日南・串間
ブロック
橋本 由美

微力ではございますが、会員の皆さまと共に活動し、スキルアップしていけるよう頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。



都城・北諸県
ブロック
恒吉 歩

ブロックネットワークを中心に会員の皆様と共に更にスキルアップし、地域に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



小林・えびの・
西諸県
ブロック
山毛 徹

オフライン・オンラインを活用し、西諸県の会員間の情報共有を図り、協会の活動に魅力を感じていただけるように努力します。



調査研究部
児浪 俊之

再任となります。引き続き宜しくお願い致します。担当事業が、県ケアマネ協会事業等において骨格的な活動となるよう努めてまいります。



研修企画部
大浦 栄子

研修企画部担当理事の大浦栄子です。引き続き、会員の皆様の一助となるよう、資質向上・モチベーションアップに繋がる研修を企画して参ります。よろしくお願いいたします。



法定研修部
川崎 智志

新カリキュラムに準じた法定研修を体系的に実施し、専門職として資質向上や自立支援に資するケアマネジメントの実践のため企画、運営します。よろしくお願いいたします。



情報政策部
今別府 大作

協会活動を会員の皆様に広報誌やホームページを活用して発信します。またいつ起こるかわからない災害に備えて体制整備を行ってまいります。よろしくお願いいたします。



介護保険部
日高 陽子

今年度で3期目を務めさせていただくこととなりました。今までの経験と委員の皆様のを借りながら介護保険部の事業を進めてまいります。よろしくお願いいたします。



相談支援部

山下 裕行



総合支援部

甲斐 輝彦



顧問

嶋田 喜代子

相談支援部理事の山下裕行と申します。会員の皆様の知恵を頂き、働きやすい環境を提供できるよう努めます。よろしくお願いいたします。

皆様方が築いてこられた多職種との連携を深め、地域福祉や会員おひとり一人に貢献できるように努めてまいります。よろしくお願いいたします。

介護保険制度の要として活動されている介護支援専門員の皆さまの働きやすい環境整備に、顧問として尽力していきます。



監事

野津原 裕



監事

中島 紫織



事務局長

岡崎 浩司

処遇改善や人手不足が解消せぬ中、多様な課題に柔軟に向き合っている皆様に敬服しつつ、会の健全運営に何らかのお役に立てれば幸いです。

会員の皆様の会費が適切に運用されるようにしっかりと監査を行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

介護支援専門員として働きたい、働き続けたいと思う環境を職能団体として作っていきたくと思います。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度 一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会 総会・講演会



議長



また、会の後半には講演会を開催いたしました。淑徳大学教授の結城 康博氏をお招きし、「令和6年度介護報酬改定のポイントを深掘る～今、求められるケアマネジャーの進化・深化・真価～」をテーマにご講演いただきました。

結城教授から見た現在の介護保険制度、そして地域包括ケアシステムについて、鋭い切り口でご説明いただきました。私たち介護支援専門員に関することと言えば、介護支援専門員の処遇に関することや更新研修の在り方(資格の更新制度等)に関することなど、当協会においても議論されている内容について触れられていました。

今回の講演会を通して改めて、ケアマネジャーの資格を守るのは誰なのか、そして課題解決のために取り組んでいくのは誰なのか、主体は私たちケアマネジャー自身であることを再認識させていただきました。

令和6年6月16日(日)に宮崎市のJA・AZMホール大ホールにて令和6年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会総会・講演会が開催されました。当日は、令和5年度事業報告および収支決算、定款の一部変更、新役員を選出の4つの議案、そして新役員選任報告、令和6年度事業計画および予算についてご報告いたしました。

議長のスムーズな進行、そして皆様のご協力のもとすべての議案が承認されました。誠にありがとうございました。



役員一同、ケアマネジャーのために力を合わせて頑張ります！



淑徳大学
結城康博教授

情報政策部 広報委員会のご紹介

宮崎県介護支援専門員協会には、ブロックネットワーク、各種部会が設置され、職能団体としての目的を達成するためにブロックネットワークや各部会が各種活動を展開しています。今回は、情報政策部の広報委員会の活動等についてご紹介させていただきます。

延岡の
太田育也さん



宮崎の
今別府大作



都城の
清水那一さん



宮崎の
衛藤順子さん



広報委員会は、担当理事1名、委員3名、計4名で活動しています。主な活動としては、年2回の広報誌とホームページを活用しての情報発信と宮崎県の委託事業である自殺対策研修会の企画運営を行っています。広報誌の発行に向けては、役割分担を行い、県内各地で開催されている協会主催の研修会の取材や写真撮影、そして広報誌の構成などについて委員の皆さんのアイデアをもとにして作成しています。また、自殺対策研修会については、県内の現状を踏まえて、私たち介護支援専門員が必要としている内容を精査し、企画運営を行っております。

業務の合間をぬっての打合せは、煮詰まってしまうこともしばしばですが、仕事に関する相談などの話題も気軽に話せる間柄になり、横の繋がりの大切さを感じさせてくれる瞬間でもあります。

これからも皆さんのニーズに対応した広報誌の作成、研修企画を実施してまいります！皆さんも協会活動を共に盛り上げていきましょう！

令和5年度の介護支援専門員実務研修受講試験において県内では、138名が合格したことを前回の広報誌でお伝えさせていただきました。その後新規入会キャンペーン等を通して約50名の方にご入会いただきました。

牛谷会長が言われるように、私たち現場の声を上げるのは、介護支援専門員自身です。またその声を国に届けることが職能団体の存在意義のひとつですが、その声を届けるためには数(会員数)が必要になります。

会員の皆さんが行っている業務に関する悩みや困りごとを共有しませんか！？その声を地域支部やブロックネットワーク、県協会、JCMAへと届けていくことで、私たち介護支援専門員が働く環境を変えていけると思います。皆さんのお近くに未入会の方がいらっしゃれば、入会のお声かけいただけると幸いです。

編集後記

暑さも日に日に増してきている今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

広報誌が皆さんの手元に届いているころは夏真っ盛りですね。夏を満喫していますか！？

さて、今回の広報誌いかがだったでしょうか。これまでの「ケアマネみやざき」を残しつつ、デザインや文書の構成、また遊び心も取り入れた広報誌にしてみました。これは、広報委員皆さんのアイデアを取り入れて出来上がったものです。これからも会員の皆さんが、仕事の合間のブレイクタイムに手に取ってもらえるような広報誌の作成に取り組んでいきます。皆さんからも随時、広報誌のアイデアをお待ちしておりますので、お気軽にお伝えください。

さあ、夏本番です！仕事も頑張りつつ、夏も楽しみましょう！

宮崎県協会の会員数の動向 R6.7.31現在

ブロックネットワーク別	正会員	準会員
宮崎・東諸県	597	7
小林・えびの・西諸県	92	0
西都・児湯	134	0
日南・串間	151	0
都城・北諸県	225	1
日向・東臼杵	132	0
延岡・西臼杵	179	1
合計	1510	9